

令和3年度出前講義一覧  
 県内中学・高等学校(実施件数 49件)

高等学校名	実施日	学部	学科	派遣講師名	テーマ	
宮崎北高等学校	7月17日	土	工学部	電気電子工学プログラム	吉野 賢二	世界の脱炭素化への取り組み
			農学部	植物生産環境科学科	鉄村 琢哉	「カキの樹を小さくする」
小林高等学校	11月4日	木	工学部	土木環境工学プログラム	嶋本 寛	土木計画学と社会の関わり
			地域資源創成学部	地域資源創成学科	池田 中也	近年の地域におけるクリエイティブの役割&アートとはデザインとは
宮崎県高等学校 教育研究会音楽部会	6月20日	日	教育学部	学校教育課程	阪本 幹子 浦 雄一	音楽を学ぶための基礎知識・能力を身につけよう
			教育学部	学校教育課程	椋木 香子	子どもの人権と教師の任務
福島高等学校	6月18日	金	医学部	看護学科	木下 由美子	がん看護
			工学部	電気電子工学プログラム	田村 宏樹	センシング技術を用いたヘルスケア機器の開発
飯野高等学校	6月18日	金	工学部	情報通信工学プログラム	横道 政裕	宮崎大学での学生生活について
日南高等学校	7月10日	土	工学部	情報通信工学プログラム	Thi Thi Zin	ICTを活用した牛の見守り
			農学部	畜産草地科学科	徳永 忠昭	センサ情報を活用した宮崎牛の育種改良?
宮崎西高等学校	9月22日	水	地域資源創成学部	地域資源創成学科	池田 中也	近年の地域におけるデザインとの役割&アートとはデザインとは
			教育学部	学校教育課程	塚本 泰造	「他者との出会い」と「聞く/話す」—簡単にデビューできる「自己紹介」
			医学部	医学科	丸山 治彦	研究者の生態とサイエンス業界の掟—芽殖孤虫ゲノム論文を例にして
			看護学科	木下 由美子	がん看護を学ぼう	
			工学部	応用物理学プログラム	森 浩二	暑い夏の夜の熱い宇宙
			工学部	情報通信工学プログラム	片山 徹郎	社会を支えるソフトウェア
			農学部	獣医学科	上村 涼子	獣医師の役割と牛マイコプラズマ肺炎研究のよもやま話
都城西高等学校	7月10日	土	地域資源創成学部	地域資源創成学科	丹生 晃隆	経営学はどのような学問か —地域との関わりをのなかからマネジメントを考える—
			教育学部	学校教育課程	藤本 将人	教育学部で何を学ぶ?教育学部では何が出来る?
			工学部	応用物理学プログラム	福山 敦彦	超スマート社会(Society 5.0)って何だろう? ~ものづくりやエネルギー活用における工学の役割~
			工学部	情報通信工学プログラム	高橋 伸弥	コンピュータの発展と私たちの社会について
			農学部	応用生物科学科	江藤 望	ゾンビ細胞を伐ち、健康寿命を延ばせ!
			畜産草地科学科	井口 純	食品に潜むHazardとRisk	
			地域資源創成学部	地域資源創成学科	土屋 有	コロナ変化したエンタメの形とは? ~Nintendo SwitchとYahoo!ビッグデータから~
多言語多文化教育センター	藤井 久美子	外国人観光客の増加から考える日本社会の変化				
宮崎南高等学校	9月29日	水	教育学部	学校教育課程	藤本 いく代	知っているようで知らない「声」の秘密
			医学部	看護学科	甲斐 由紀子	看護職への道、医学部看護学科で学ぶ意義
			工学部	電気電子工学プログラム	太田 靖之	宮崎に豊富に降りそそぐ太陽光を用いたエネルギー製造
			機械知能工学プログラム	川末 紀功仁	知能と機械	
			農学部	海洋生物環境科学科	宮西 弘	魚の体のしくみを知り、私たちの暮らしに繋げる
			地域資源創成学部	地域資源創成学科	丹生 晃隆	経営学はどのような学問か —地域との関わりをのなかからマネジメントを考える—
			多言語多文化教育センター	松井 真之介	あなたの「当たり前」はみんなの「当たり前」? ——日本語・英語・フランス語からみる言語の普遍性と個性	
宮崎南高等学校	9月29日	水	教育学部	学校教育課程	関 周一	大学で歴史を学ぶ—史料を読んで考える—
			医学部	医学科	湯川 修弘	死体現象について
			看護学科	野間口 千香穂	小児看護:子どもの「声」を聴く	
			工学部	応用物質化学プログラム	鍋谷 悠	光エネルギー変換とアクチュエーター材料
			機械知能工学プログラム	川末 紀功仁	知能と機械	
			農学部	森林緑地環境科学科	光田 靖	持続可能な社会の実現に向けた森林管理
			応用生物科学科	平野 智也	「新たな植物を創る技術」	
地域資源創成学部	地域資源創成学科	箕輪 さくら	環境問題と法(仮)			
日向高等学校	10月22日	金	工学部	応用物質化学プログラム	谷田貝 孝	「コロナ禍だからこそ、今高校生ができること!」 (どうしたら前向きな考え方ができるようになるか?)
			教育学部	学校教育課程	中村 佳文	日本の恋歌とクリスマス—短歌とJ-POP
都城京ヶ丘高等学校	11月11日	木	農学部	森林緑地環境科学科	松本 仁	両親媒性化合物:界面活性剤から医薬品の開発へ
			医学部	医学科	山下 真治	農学部で学ぶ、みどりを学ぶ、そして社会に貢献する
			工学部	情報通信工学プログラム	山森 一人	高次脳機能障害について 情報工学を学ぶと—AI技術を中心に—
延岡学園高等学校	11月17日	水	農学部	植物生産環境科学科	松尾 光弘	農学部で何が勉強できるの? —宮崎大学農学部植物生産環境科学科では—
			獣医学科	西野 光一郎	iPS細胞 x 人工知能(AI)のはなし	

県外中学・高等学校(実施件数 10件)

高等学校名	実施日	学部	学科	派遣講師名	テーマ	
熊本人吉高等学校	7月9日	金	工学部	土木環境工学プログラム	糠沢 桂	河川における治水と環境を科学する
			農学部	応用生物科学科	清 啓自	宮崎大学農学部ってどういうところ?
			地域資源創成学部	地域資源創成学科	山崎 有美	食の機能を基軸とした地域活性化~栄養・嗜好・生体調節機能~
熊本県立第二高等学校	7月13日	火	医学部	医学科	中村 雄	耳鼻咽喉科疾患
熊本県立第一高等学校	9月6日	月	医学部	看護学科	吉永 砂織	地域生活を健康から支える様々な看護実践
長崎県立上五島高等学校	7月30日	金	農学部	応用生物科学科	井上 謙吾	地球に優しいバイオテクノロジー
長崎県立佐世保西高等学校	8月5日	木	地域資源創成学部	地域資源創成学科	熊野 稔	地域創造 地域の資源を生かして再生する
福岡県立朝倉高等学校	7月16日	金	教育学部	学校教育課程	塚本 泰造	「他者との出会い」と「聞く/話す」—簡単にデビューできる「自己紹介」
福岡県立八幡高等学校	11月12日	金	工学部	応用物質化学プログラム	菅本 和寛	未来を拓く先輩課外授業
鹿児島県立種子島中央高等学校	7月21日	水	地域資源創成学部	地域資源創成学科	井上 果子	再生のフロンティアとしての農山漁村

## ◆出前講義実施件数(参加可のみ)

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
県内	49	39	62
県外	10	0	28
計	59	39	90

## ◆県別申込高等学校等数(参加可のみ)

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
宮崎県	12	8	16
熊本県	3	0	8
長崎県	2	0	2
福岡県	2	0	4
鹿児島県	1	0	8
大分県	0	0	1
佐賀県	0	0	1
計	20	8	40

## ◆高校訪問実施件数(工学部)

オンライン	高千穂高等学校、日向工業高等学校、日向高等学校、宮崎第一高等学校、宮崎南高等学校、延岡工業高等学校、延岡高等学校、宮崎工業高等学校、都城泉ヶ丘高等学校、都城工業高等学校、都城西高等学校(11校)
対面	延岡青雲高等学校、延岡学園、日章学園高等学校、佐土原高等学校、妻高等学校、高鍋高等学校、鵬翔高等学校、宮崎日本大学高等学校、宮崎北高等学校、宮崎大宮高等学校、日向学院高等学校、宮崎学園高等学校、小林秀峰高等学校、小林高等学校、飯野高等学校、日南振徳高等学校、日南高等学校、日南学園高等学校、福島高等学校、宮崎西高等学校(20校)
計	31校